

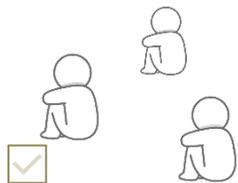
子どもに応じた多様な学び方

個別最適化された学びの実現

たとえば、**タブレット端末のデジタル教材で学びを個別化したのに**、次のような子どもの姿を目にすることはないか、**振り返ってみましょう。**



困っている部分を個別指導しようとしたのに断わられてしまう。



黙々と学んでいる子どもが、寂しそうに見えることがある。

こんな姿も

この姿が生まれる理由を「**子どもの視点**」から掘り下げてみましょう。

子どもは先生に対して、新しい関わり方を期待しているのではありませんか？

自分の力だけで乗り越えざるを得ない不安を抱えているのではありませんか？

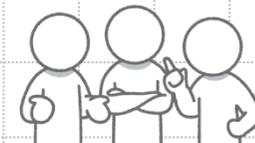
こんな理由も

「**子どもの視点**」に立って、自分の実践を見直してみましょう。

[Blank writing area for reflection]

「**子どもの視点**」に立って見直した内容を**交流**してみましょう。

メモ



【参考】学びの自立化・個別最適化

「学びの自立化・個別最適化」とは、子ども達一人ひとりの個性や特徴、そして興味関心や学習の到達度も異なることを前提にして、各自にとって最適で自立的な学習機会を提供していくことである。
(経済産業省「『未来の教室』とEdTech研究会 第2次提言」2019年6月)

試みたいこと

「**個別最適化された学びの実現**」という着眼点で「**子どもの視点**」から授業づくりをする際に心に留めておきたいこと、新たな選択肢として試みたい実践などを記入しておきましょう。

(研修実施日 年 月 日 氏名)



長野県教員育成指標との関連

「個別最適化された学びの実現」は、E「教育のプロ」としての高度な知識や技能の〈学習指導〉⑧〈指導方法〉Doに関連しています。